

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-223333(P2006-223333A)

【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2005-37414(P2005-37414)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

A 6 1 B 6/03 3 6 0 G

G 0 6 T 1/00 2 9 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月6日(2008.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着目部位と静止心時相の優先順位のリストとの対応を含む静止心時相データベースを保持する保持手段と、

被検体の着目部位が取得されると、前記被検体の心電情報に基づいて、前記静止心時相データベースを参照して静止心時相の優先順位を設定する設定手段と、

設定された静止心時相の優先順位に従って、前記被検体を走査して取得した計測情報の一部を抽出する抽出手段と、

抽出された前記計測情報の一部に基づいて前記被検体の着目部位の画像を再構成する画像再構成手段と、

再構成された画像を表示する表示手段と、

を備えたことを特徴とする画像診断装置。

【請求項2】

前記保持手段は、さらに、着目部位と3次元表示における所定視線方向の優先順位とを対応付ける視線方向データベースを保持し、

前記設定手段は、さらに、前記心電情報に基づいて、前記視線方向データベースを参照して前記被検体の着目部位から所定視線方向の優先順位を設定し、

前記抽出手段は、さらに、設定された所定視線方向の優先順位に従って、前記計測情報の一部を抽出し、

前記画像再構成手段は、さらに、抽出された前記計測情報の一部に基づいて前記被検体の着目部位の3次元像を作成し、

前記表示手段は、さらに、作成された3次元像を表示することを特徴とする請求項1に記載の画像診断装置。

【請求項3】

前記画像再構成手段は、さらに、前記被検体の着目部位の優先順位に対応した優先順位の視線方向の表示情報を生成し、

前記表示手段は、さらに、生成された表示情報を表示することを特徴とする請求項2に

記載の画像診断装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前述した目的を達成するために本発明は、着目部位と静止心時相の優先順位のリストとの対応を含む静止心時相データベースを保持する保持手段と、被検体の着目部位が取得されると、前記被検体の心電情報に基づいて、前記静止心時相データベースを参照して静止心時相の優先順位を設定する設定手段と、設定された静止心時相の優先順位に従って、前記被検体を走査して取得した計測情報の一部を抽出する抽出手段と、抽出された前記計測情報の一部に基づいて前記被検体の着目部位の画像を再構成する画像再構成手段と、再構成された画像を表示する表示手段と、を備えたことを特徴とする画像診断装置である。